高畠町立小学校の再編に向けた意見交換会　記録

１　開催概要

日　時	令和８年１０月６日（火）午後７時～午後８時３０分
会　場	生涯学習館
対象・参加者	町民
参加人数	**参加者２２名**（事前申込２０名、当日申込２名、欠席０名） 教育長、事務局４名
主催・事務局	高畠町教育委員会　教育総務課

２　意見交換の記録

（１）望ましい教育環境

意見交換の視点：これからの子どもたちに、どのような学校生活を送ってほしいか。

意見１	どんな形であれ、子ども達には多くの人（同級生、先生、地域の人）と関わって欲しい。
意見２	子ども達の適応力を身に付ける、レジリエンスを育む、そういった環境を整えることが大事。ハイブリッドで考えて欲しい。
意見３	現在の校舎はだいぶ古く、そういった中でケガ無く安全な環境を確保することが大事である。家庭において安心・安全が守られていないところもあるのではないか。小規模、大規模どちらが良いか選択することはできないが、学校は子ども達の心のよりどころであり、少なくても安心して過ごして欲しい。
意見４	小規模が望ましいと思う。高畠町の特性を生かして欲しい。二井宿小学校の複式学級は、先生とマンツーマンで学べる良い環境であると思う。高畠中学校は、町内４つの中学校が１つとなった。中学生であっても大規模校に馴染めず、ステップルームで学ぶ子も多いと聞いている。
意見５	学校の空き教室に７５歳以上の人が集まって、子どもをサポートする等で地域との繋がりを確保してはどうか。
意見６	小学校が統合すれば、子どもの声が聞こえなくなる。行政の全体的な事柄についても小学校の統合を機会に考えていければ良いと思う。

（２）大切にしてほしいこと

意見交換の視点：今の学校の良さでこれからも残してほしいこと、再編を考える上で心配なこと。

意見１	地区ごとに地域や商店街を回るなど、地区を学ぶ機会を確保して欲しい。例えば、給食室前の自給野菜組合の方の写真等もある。廃校後の校舎をどうするのか、施設についても心配である。
意見２	今、小学校学校に行くとき「行ってきます」「おはよう」と糠野目小学校の見守り隊の人達が歩道まで出て見守ってくれている（祖父母等）。
意見３	学校に馴染めない、多動である等の子どもの環境を大切にして欲しい。小規模で幼稚園から一緒だからそれぞれの特性を認め合えるところがあるのではないか。大規模校に統合したとしても、１～３年生を対象とした３つ程度の分校を残し、４年生～大規模校にするという案はどうか。ある程度上の学年との関わりができてから、子ども達を一緒にする。大規模校についていけない子どもは、分校に残してもらう。そういったことであれば、児童一人ひとりの関係性は崩れないのではないか。

（３）通学・施設・放課後

意見交換の視点：再編を考える上で必要な配慮（通学、学校施設、放課後児童クラブ等）。

（４）地域とのつながり

意見交換の視点：学校と家庭、地域とのつながりを、これからどのように築くとよいか。

意見１	学校と家庭の繋がりはあるが、学校と地域、家庭と地域との繋がりが薄くなっている。今の子ども達は、非常に忙しいと思う。
意見２	各地区に学童を設置し、通学バスで地域に戻るのはどうか。
意見３	一昔前は、各地域で子どもを可愛がって育てるといったことが一般的だった。多様化や競争の必要性は分かるが、小学校時代くらいは、のびのび育てたいと思う。小学校が無くなれば、地区には公民館以外何も残らない。教育施設と地区の活性化を繋げることは難しい時代なのか。

（５）その他

意見交換の視点：上記以外の意見、質問、要望等。

意見１	特になし

３　主な質問と事務局回答

質問・確認事項	事務局からの回答・説明
特になし	

４　備考

なし